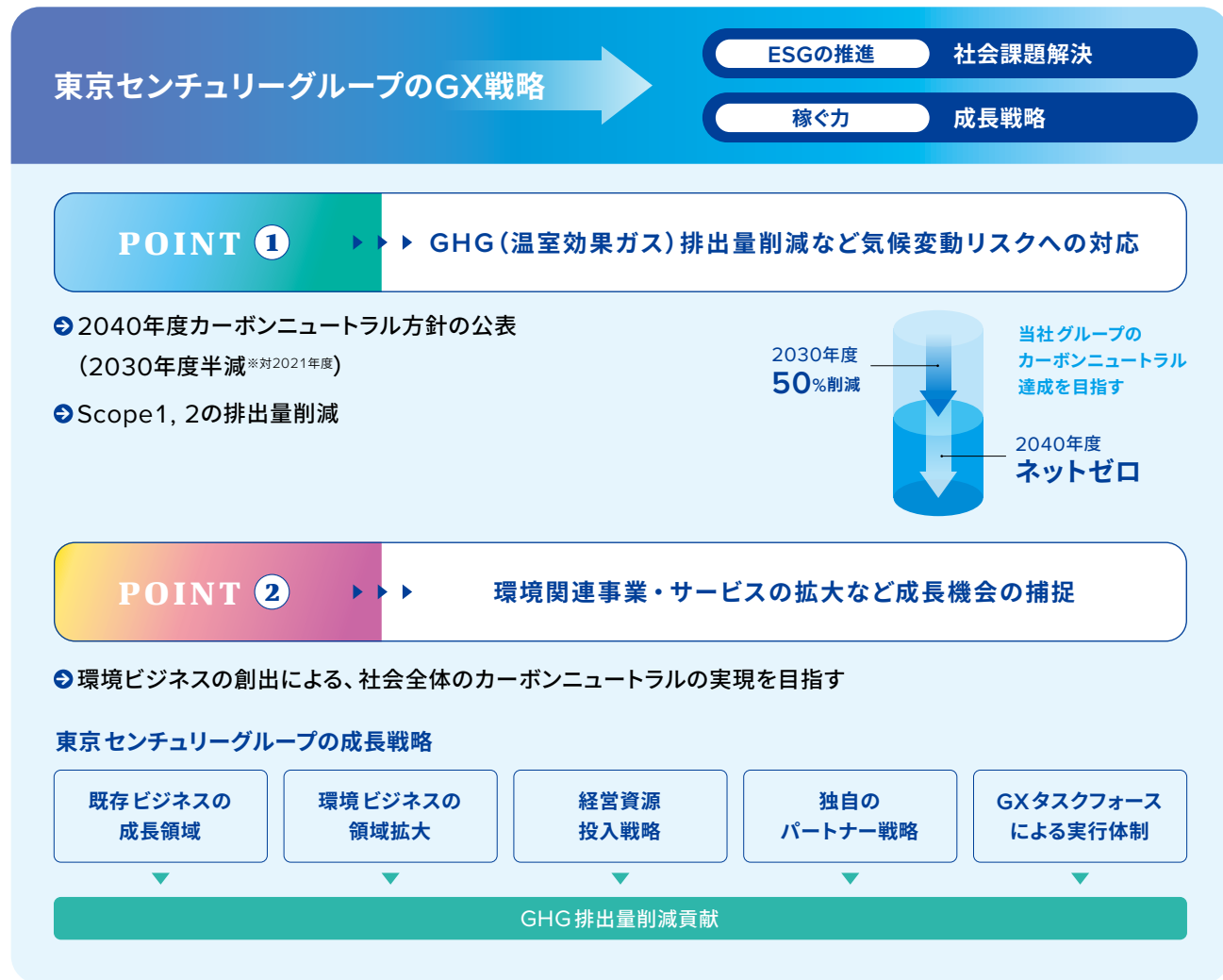


GX

カーボンニュートラル関連事業の推進

TCX実現へ向けたTransformationの一つとして、当社グループのカーボンニュートラルの達成と社会のカーボンニュートラルニーズに貢献する環境ビジネスの創出を目指します。



POINT ① ▶▶▶ GHG排出量削減など気候変動リスクへの対応

気候変動への取り組みの意義

当社グループは、経営理念に掲げている「環境に配慮した循環型経済社会の実現」に向けて、気候変動への対応を重要な成長機会として認識し、全社一体となって取り組みを推進しています。「脱炭素社会への貢献」を当社のマテリアリティの一つとして設定しており、社会課題の解決と当社の持続的な成長・企業価値向上を同時に実現していきます。

当社グループのGHG排出量と削減目標

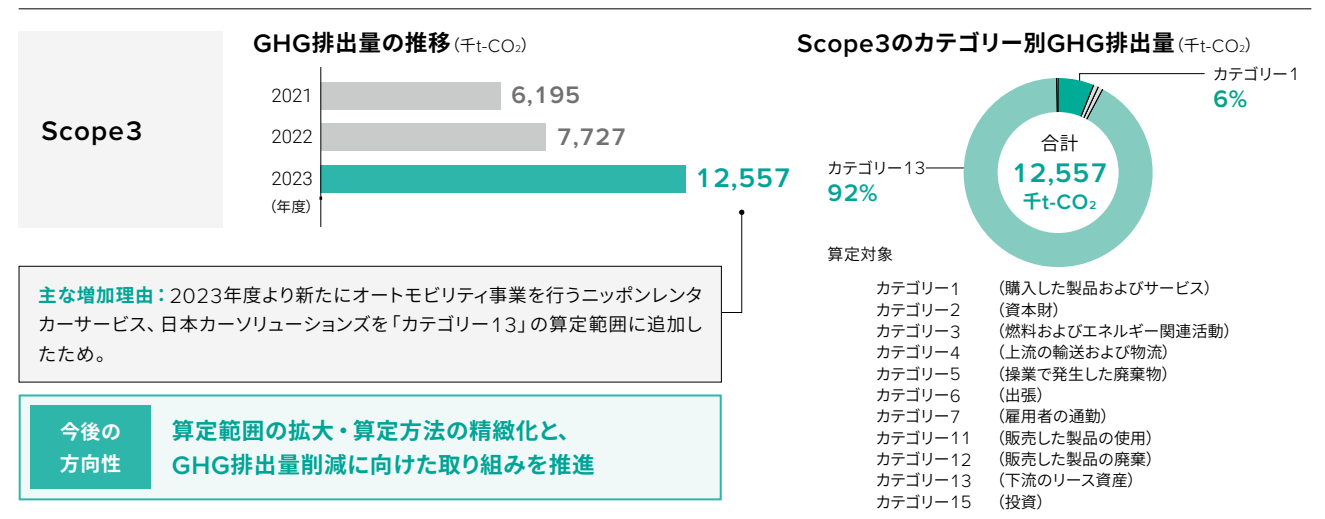
Scope1～2	GHG排出量の推移(千t-CO ₂)				削減目標*2
		2021年度	2022年度	2023年度	
	Scope1	11	1,083	920	
	Scope2(L)*1	9	15	17	
	合計	20	1,098	937	

*1 (L)：ロケーション基準

*2 削減基準排出量(136.5万t-CO₂)対比。(2021年度実績 + 周南パワーのバイオマス混焼発電所およびホテル事業の年間想定排出量)

2023年度より新たに 国内会社2社、CSIグループの海外子会社4社を算定範囲に加えています。

2030年度：**50%削減**
2040年度：**ネットゼロ**



詳細は最新のサステナビリティデータブックをご参照ください。

<https://www.tokyocentury.co.jp/jp/sustainability/databook/>

Scope1～2：排出量の削減に向けた取り組み事例

自社の直接排出・エネルギー起源の間接排出

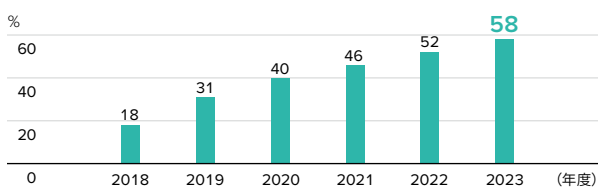
直接排出は、社用車(ガソリン車)を段階的にEVなどの電動車へシフトし、ガスの電力への転換や高効率・省エネ機器への入れ替え、再生可能エネルギーを活用しているビルへの移転による削減を計画しています。間接排出は、グリーン電力への調達切り替えや非化石証書購入による実質再生可能エネルギー化を目指します。

Scope3：排出量の削減に向けた取り組み事例

航空機事業：燃費効率の高い次世代機体の導入

航空機リース子会社のACGをはじめ、燃費効率の高い次世代機の積極的な導入によるGHG排出量削減を進めています。特に主力機であるエアバスのA320neoシリーズは、従来機に比べて約20%のGHG排出量削減効果があり、環境に配慮した航空機の保有比率を高めることで排出量の削減を推進します。また、航空業界の排出量削減を進める上で、燃料をSAF*へ代替していくことは喫緊の課題であり、当社としても新たなビジネスチャンスと捉え、取り組みを検討しています。

当社グループの保有航空機に占める次世代機体比率



※ 算定方法など詳細は最新のサステナビリティデータブックをご参照ください。

※ ACGのESGLレポートは下記URLをご参照ください。

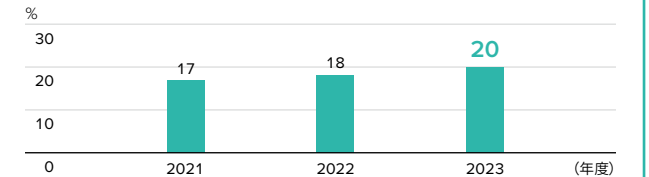
<https://www.aviationcapitalgroup.com/wp-content/uploads/2024/02/2023-ESG-Report.pdf>

オート・レンタカー事業：

EV車両の取り扱い強化・EVバッテリービジネスへの参入

- ➡ 「EV100」を宣言しているNTTグループへのEV提供など、顧客に対するEV導入推進
- ➡ EVタクシー、EVバス、電動マイクロモビリティの取り扱い開始
- ➡ EV関連サービス提供に向けたバリューチェーンの強化

オートモビリティ事業分野における電動車の取り扱い比率*



* 日本カーソリューションズ、ニッポンレンタカーサービスの2社対象

不動産事業：再生可能エネルギーの導入

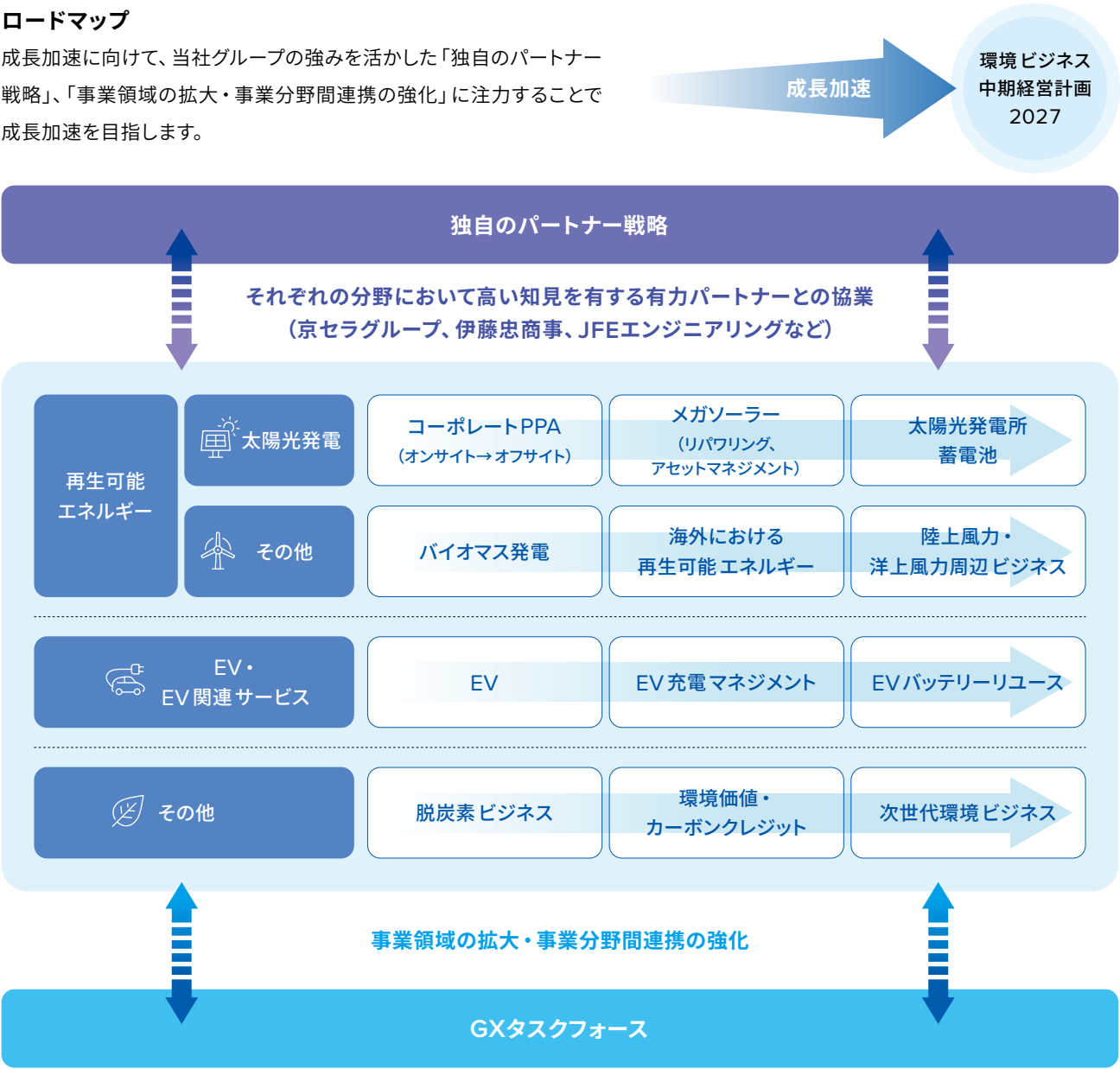
- ➡ 再生可能エネルギー由来の電力の導入
- ➡ 所有物件における太陽光パネルの設置

GX

POINT 2 環境関連事業・サービスの拡大など成長機会の捕捉

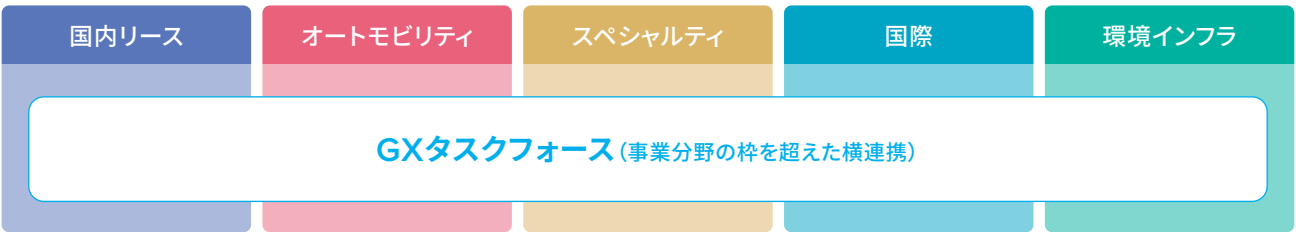
ロードマップ

成長加速に向けて、当社グループの強みを活かした「独自のパートナー戦略」、「事業領域の拡大・事業分野間連携の強化」に注力することで成長加速を目指します。



カーボンニュートラルニーズに応える事業拡大(実行体制)

環境関連ビジネスは各事業分野共通の取り組みテーマであり、高まる社会のニーズに応え、より成長スピードを加速させるため全社横断のGXタスクフォースを設け、カーボンニュートラル社会の実現へ向けて推進しています。



パートナーとの協業による環境ビジネスの取り組みイメージ

社会のカーボンニュートラルニーズに応えるべく、エネルギーバリューチェーンのそれぞれの場面において、有力パートナーとの協業を中心に積極的な取り組みを推進しています。



太陽光発電	太陽光発電事業や、発電効率向上をねらったアセットマネジメント、テクニカルマネジメントなど	風力発電	陸上風力発電、洋上風力発電の周辺サービスなど
屋根置きソーラー	オンサイトPPA、オフサイトPPA	EV・EV関連サービス	EVリース、EV充電マネジメントなど、EV関連サービス
蓄電池	太陽光発電併設型や、系統直結型蓄電池など	森林ファンド	森林ファンドへの参画を通じたカーボנקレジットの組成・販売など